

《二〇二二年度第一回試験 国語》解答例

- ① い ② しゃそう ③ ようさん ④ 裏 ⑤ 退ける
⑥ 系統 ⑦ 除夜 (2点×7)

問一 1 エ 2 オ 3 ウ 4 イ (2点×4)

問二 ウ (3点)

問三 (1) ① 単語の意味を ② 単語の区切り (3点×2)

(2) 単語の音の形とその音のかたまりに付随している意味を知らず、世の中のことに関するいろいろな知識も持っていないとできないことだから。 【64字】

問四 エ (4点) 問五 合理的 (3点)

問六 日本語を母語とする子どもは「カ」が単語であることは知っているが、一音節のことは単語だと考えにくいので、「カニササレル」の「ニ」を「カ」の一部にしてしまい、「カニ」で一つの単語だと誤解したから。 (8点)

問七 オ (5点)

問一 (1) グラウンド ① ん響く声援 (2点) (2) イ (3点)

問二 転んだ千春を見守り、周囲の非難から守ってあげたいという気持ち。 (4点)

問三 オ (3点)

問四 選んだことわざ (例) 雨後のたけのこ

たとえ…… (例) 雨上がりにたけのこがいつせいにはえる (2点)

意味…… (例) 同じようなものが、次から次へと出てくること (2点)

問五 1 キ 2 オ 3 ウ 4 エ (2点×4)

問六 リレーでチームに迷惑をかけないよう特訓を重ねた上に、さらにおじさんに知恵を借りてまで何とかしようとする千春の気持ちを俊太は想像しようとしてもしていないと思ったから。 【80字】 (6点)

問七 特別な靴をはいてリレーを走るのはズルであるということ。 (5点)

問八 感情のままに千春を言い負かしてしまったことにきまりの悪さを覚えつつ、何とか力になりたいが素直に表現できずにいる思いを千春が受けとめてくれたことに対して照れている気持ち。 (8点)